学校番号	３０１

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典臨書学習を中心に、創作演習、書に関する知識など、幅広く内容を深めて学びます。

2　学習の到達目標

初見で古典の特徴を捉え、言葉で表現できると共に、時間内に半紙臨書作品として書き上げることが出来る。与えられた題材の創作（半紙）を字書なしで書き上げることが出来る。書道の歴史や用具用材について、及び漢字の書体と仮名（変体かな）についての基礎的な知識を持ち、使うことが出来る。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書の表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、個性的な表現を工夫している。	自らの意図に基づいて構想し、個性的な表現を工夫し、効果的・個性的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解を深め、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わい、言葉で表現している。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ スピーチ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ スピーチ コメントシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期・月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期　四月(月表示については目安)　五月	仮名の書 仮名の書による創作	仮名の書の学習 古典の臨書と鑑賞 墨量、墨色の変化の効果を知る。 行書きの古典の学習 散らし書きの古典の学習	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:用具・用材と表現との関係に感心をもち、意欲的主体的な表現に取り組もうとしている。 b:仮名の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構成し工夫している。 c:仮名古典それぞれの線質と用筆・運筆を理解し、違いを表現しようとしている。 d: 平仮名の字源をしり、変体仮名を読み、正しく書くことが出来る。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
六月	漢字の書・行書、草書の学習	行書の学習 行書古典の臨書と鑑賞 王羲之 智永 黄庭堅 顔真卿 空海等の臨書 課題題材の創作	○	○	○	○ ○	a:書体の変遷に興味を持ち連続性や流動性・律動感を理解し、行草書の学習に意欲を持って取り組む。 b:行草書の字形・基礎的な運筆・用筆を理解し表現しようとしている。 c: 行草書の字形・基礎的な運筆・用筆の技能を身に付け表している。 d:行草書の連続性や流動性・律動性を感じ取っている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
二学期　七月　八月	漢字の書・楷書・篆書、隷書の学習	楷書・篆書・隷書の学習 篆書・隷書の古典の臨書と鑑賞	○	○	○	○ ○	a:書体の変遷に興味を持ち篆書・隷書・楷書の学習に意欲を持って取り組む。 b:篆書・隷書・楷書の字形・基礎的な運筆・用筆を理解し表現しようとしている。 c:篆書・隷書・楷書の字形・基礎的な運筆・用筆の技能を身に付け表している。 d:篆書・隷書・楷書の特徴を感じ取っている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

九月	各自選んだ古典の臨書（書体自由）	各自の選択による臨書と鑑賞	○	○	○	○	a:自主的に古典を選択し、意欲を持って臨書作品に取り組む。 b:選んだ古典の字形、運筆・用筆などの特徴をとらえ、自らの意図をもって臨書しようとする。 c:選んだ古典の特徴を理解し、自らの意図を表現する技能を持って表している。 d:自ら選んだ「学びたい古典」の鑑賞を深める。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品 コメントシート
十月 十一月	創作の演習から作品制作へ	漢字の書の創作 題材を考え、作品制作 書の要素による変化を検討して作品を仕上げていく。 作品創作 作品について発表する	○	○ ○	○ ○	○	a:個性や意図に即した用具、用材、題材を選んで創作に取り組む。 b: 書の要素について理解し、表現の狙いをつかんで意図をもって創作に取り組む。 c:漢字と仮名の調和を意図した線質を表現をする技能を持って表現している。 d:作品を感受性・個性豊かに鑑賞している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品 コメントシート
三学期 十二月	臨書演習・創作演習	臨書、及び創作演習	○	○	○	○	a:個性や意図に即した用具、用材、題材を選んで創作に取り組む。 b: 意図をもって題材にふさわしい表現を想定して創作に取り組む。 c: 初見の古典について特徴をとらえ、時間内に書き上げる。 d:初見の古典について臨書作品として仕上げる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品 コメントシート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。